

平成 29 年 11 月 20 日

11 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

伐採シーズンを迎えたが、台風や長雨の影響で出材が遅れ、市場や共販所への入荷少なく、品薄感から買い気は強い。良材の入荷が多く、スギ・ヒノキとも強保合。特にスギ 3.0m 柱材が 14,000 円以上の急激な値上がりを見せ、ヒノキ 4.0m 土台も 17,500 円以上で取引された。スギ材は全般的に上げ基調で売り手と買い手が相場を引き合っている。製材工場は今後の出材増を見込み、高値買いは手控えて当用買いの姿勢が目立つ。

群馬県では原木流通量が増え、製材工場の集荷は順調。原木在庫は例年に比べ少ないが、十分な状況。戸別物件の受注は静かであるが、全体の仕事量は十分で、年末に向けての仕事に追われている。製品在庫はかなり少なく、特にスギの 3m105 角、4m90 角、4m105 角、ヒノキの 4m105 角が品薄になっている。価格は全般的に低位安定状態にあるが、スギ・ヒノキ角類は 3,000 円程度の値上げ。

2. 米材

米加北西部では 9 月より秋の気候となり、伐採は平常どおり。しかし伐採回復前の在庫量が激減した中、船積みは通常通りのため、在庫の積上げに至っていない(特にカナダで深刻)。ウエアハウザー社の 11 月積み対日価格(推定)は前月に比べ \$50 アップの \$960 となり、4 カ月連続の上昇となった。この間の上げ幅は \$100 で過去 15 年間で最大、絶対値としては 20 年振りの高値である。産地製材価格も高値で推移し、米国製材工場の製材意欲は旺盛で原木の需給バランスは崩れた状態。12 月積みも価格上昇が必至で、海上運賃も上昇中である。11/2 に米商務省がカナダ産製材品に対する相殺関税・反ダンピング関税の課税に関する最終決定を発表し、最終税率は 20.83%。ランダムレングス紙の 15 種平均価格(11/3)は \$431/M で 10 月頭に比べ 0.5% ダウン。

9 月の原木入荷量は 252 千 m³、1-9 月累計で 2,029 千 m³、前年同期比 5.1% 減。出荷量は 235 千 m³ で入超。1-9 月累計では 2,048 千 m³ となり出超、前年同期比 3.2% 減。在庫量は前月より 17 千 m³ 減の 230 千 m³、在庫率は 1 ヶ月超に戻った。国内大手製材工場が 9 月に続き、11 月より 2,000~3,000 円/m³ の値上げを発表。

10月の東京木材埠頭の米材製材品入荷量は34千 m^3 (前月比13.9%増)、出荷量は31千 m^3 (同10.0%増)、在庫量は52千 m^3 (同6.0%増)。

3. 南洋材

サバでは依然天候が悪く、港頭在庫は非常に少ない。サラワクも同様に在庫が少ない。大手RHグループの伐採会社が伐採ライセンスの更新を断念。PNG、ソロモンは慢性的に天候悪く、この地区から購入している中国の港頭在庫が少なくなり、買いが強まり価格は暴騰中。インドネシアも天候不順で原木伐採は低調。11月の原木入荷(推定)は約16千 m^3 、出荷は横ばい、在庫は今後も減少。製品入荷も少ない。平割は引き合い少なく低位安定、デッキ材の販売が比較的好調。硬木のバンキライとクルインはインドの買いで価格は高騰中。

4. 北洋材

冬山へ伐採機材が搬入され、伐採は11月後半から予定。産地では中国、現地メーカー同士の原木取合が続き価格は高止まり。輸送コストも高止まり。貨車不足も深刻。原木輸出価格は保合、現地挽き製材品は弱含み、アカマツ原板は供給足りず\$380で強保合。現地挽き3cm×4cmの在庫多く、価格維持に苦戦。3mタルキはマンション不調で鈍い。国産完成品は良質グレードが堅調。9月原木入荷量は7.9千 m^3 (前年比8.0%減)、出荷量12.3千 m^3 、在庫量は18.3千 m^3 の1.4カ月。製品入荷量は48.4千 m^3 (同4.5%減)、関東の在庫は依然高水準。

5. 合板

国産材は10月の長雨で出材の遅れもあるが、需要は相変わらず旺盛。ロシア材も来年2月まで船積みが確定しており価格も強い。米材は内需、輸出とも好調で値上げが続いている。南洋材の出材は低調で価格は依然強い。9月の国内合板生産量27.5万 m^3 のうち針葉樹合板は26.3万 m^3 と前月より約8千 m^3 増の高水準、出荷量も26.7万 m^3 と過去最高を記録、在庫量10.5万 m^3 のうち構造用合板は8.9万 m^3 と再び減少し、依然低水準のまま。輸入合板は薄物G1、塗装合板の不足感が続いており、10月中旬以降、ラワン構造用合板9mmも玉不足になっている。国産針葉樹合板の11月販売価格は横ばい。プレカット業者を中心とした直需店の旺盛な需要に支えられ、メーカー主導の強気の展開が続くと見られる。9月の合板輸入量は21.7万 m^3 と今年では2月に次ぐ低水準である。産地インドネシアでは相変わらずの天候不順の影響で原木搬出が滞っている。今後、本格的な雨季へ突入するので、生産への影響が懸念される。マレーシアでも10月に入り各工場の原木在庫は減少、9月に幾分改善されていたが、降雨の影響は大きく、受注残の消化も進まない状況。国産針葉樹合板は木建ルートでは落ち着いた動きであるものの、ここに来て若干動き

出している感もある。さらに年末に向けてのトラックの取りづらさを見越し、流通筋ではある程度玉確保の意欲も増し、動きも活発になってくると見られる。輸入合板は高値玉の入荷も見込まれ、今後も強含みの展開が続くだろう。

6. 構造用集成材

10月のラミナ入港は少な目で各社ともラミナ在庫を減らした模様。価格は月を追うごとに上昇し、ラミナのユーロ価格自体は下がりにくい状況が続くと予想される。産地価格が据え置きでも輸入コストは高くなり、国内メーカーは年末、年明けにかけてRW平角65,000円、WW管柱2,000円への値上げを目指している。国内メーカーの受注は好調でRW梁桁の荷動きが良い。ラミナ価格の高騰、ユーロ高によりRWは全般値上げ。10月の輸入集成材価格は60,000円で国産集成材より割安感がある。国内集成材の価格は値上げの一途だが、輸入集成材が実質価格の上げを押さえている。WW管柱はスギ集成材のシェアが広がり、値上げしづらい状況。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷は順調、特に国有林関係が多い。解体材の入荷は例年並み。製紙用消費は一時の抑制基調が緩んできており、使用量は徐々に上向き傾向にある。燃料用は製紙用・バイオマス用とも抑制基調は変わらない。製紙用の在庫過多が徐々に適正に向かっている。燃料用在庫は相変わらず増加傾向が強い。製紙用・燃料用とも全般的に在庫が多いが、徐々に操業率は上向き傾向にある。

8. 市売問屋

構造材はスギ、ヒノキとも入荷は少ないが、仕事も少ないせいか荷動きは悪い。外材構造材も同様の動きである。造作材は国産材、外材とも材木店の引き取りが少ない。台風等の影響で原木不足の製材所もあり、これから先、原価の高い材が入荷してくると予想される。

9. 小売

スギKD柱・小割・板割、ヒノキKD柱・土台は保合。外材はアカマツタルキ保合、米ツガ角・平割とも品薄で強保合、SPF、WW間柱は保合。造作材はスプルー、ピーラー平割、タモ平割とも保合。集成材はWW柱、梁は保合、RW梁、柱ともに強保合。合板は針葉樹合板、ラワン合板の輸入品は強保合。プレカット加工の構造材、構造用合板は強保合。工務店では年末に向けてリフォーム中心の動きになっている。

11月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	↗
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↗
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	↗
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	↘
			アカマツ (KD) 16×40上級	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
			ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
	スギ 無化粧 JAS 5プライ	→		
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	10.5×10.5×2.98m	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗			